広告

トップに訊く
INTERVIEW

三雅産業株式会社

取締役社長
川面雅敬氏

PROFILE

川面雅敬（かわつらまさたか）。大学卒業後パナソニックに入社。システム営業部勤務。2005年に退職し三雅産業に入社。関東地区の営業を担当。2018年、創業者である現会長の父・智義氏の跡を継いで取締役社長に就任。

業務効率化と人材不足の解消を一挙実現。キャッシュレス社会に向けた経営改革を支援します

アウトソーシングサービスで効率化・省人化を支援

日本の製造業を取り巻く環境が大きく変わっています。新興国の躍進や、製造拠点の海外移転など、国内の製造業の利益創出は難しくなっています。そのため喫緊の課題は、業務の効率化によるコスト削減です。また少量多品種生産で業務の手間が増えたにもかかわらず、働き手が不足するという問題も抱えています。

当社は、1969年に電子部品の総合商社として創業。89年に業務を合理化する独自のシステムを開発し、産業機器メーカーの調達を代行する「三雅アウトソーシングサービス」(M.O.S)の提供を開始しました。

M.O.Sは、調達から生産に関する非コア業務を一括で代行するサービスです。本来、製造企業にとっては、設計および最適な材料の安価な調達こそがコア業務であり、伝票の発行や荷受け、納期管理などは非コア業務といえます。M.O.Sは、その非コア業務を見える化し、仕入先を変えることなく丸ごと代行しています。これにより非コア業務の手間とコストを削減し、人材をコア業務に集中できるのです。「トータルコストを削減でき、筋肉質で高収益な体質に変われる」と、上場企業様をはじめ、40社超のメーカー様から受託があり、経営改革をご支援しています。

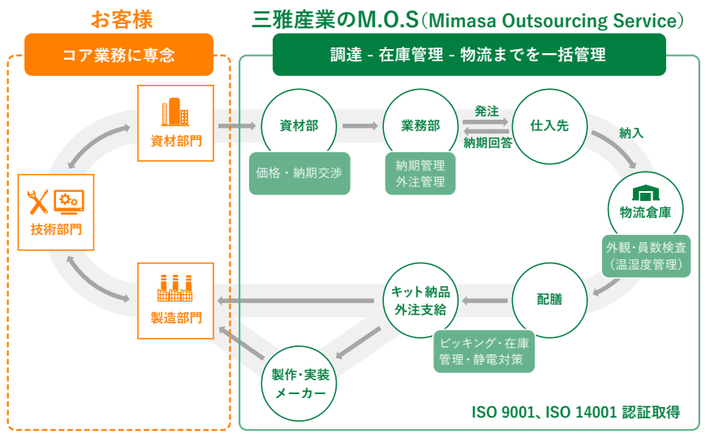
キャッシュレス時代に向けた新事業に注力

人手不足という点では、ホテル業も深刻です。当社が2017年9月に子会社化した(株)PlanD(プランディ)は、まさにその社会的課題を解決するための企業といえます。

PlanDの強みは、非対面でICクレジット決済できる「電子決済基盤」の技術です。2012年にホテルの無人チェックイン機を開発。大手ホテルチェーン様に採用していただいています。予約、認証、決済を一気通貫でできる仕組みで、スマホに送られてきたQRコードが部屋の鍵になり、チェックアウト時も自動精算できるというもの。ホテルのフロントは24時間体制なので、人員確保は生命線。そこを完全にセルフ化できるということから引き合いが相次いでいます。

PlanDの決済技術は、現金・クレジットカード・電子マネーなど手段を選びません。立ち遅れが指摘される我が国のキャッシュレス化の推進を強く支援できます。ホテル業以外でも、IR(カジノを含む統合型リゾート)などインバウンド対応に機能すると確信しています。さらに、この決済機能だけを提供するサービスも検討中です。

少量多品種生産に対応したBPOサービスで、経営改革を支援



BCP、EOL、部品情報の提供。2020年に100億円企業に！

現在、部品の製造中止や少量での入手が難しくなるなど、製造業には様々な問題が発生しています。電子部品は特に顕著で、生産スケジュールに合わせた調達が困難なことに加え、使用部品のEOL対策やBCP対策、代替品の調査など手間やコストは増える一方です。

そこで当社は、国内外の部材メーカーなど4000社近くのネットワークや大手企業数社との連携、最新情報を生かして、あらゆる部品情報をデータベース化する試みを急いでいます。これに加え、入手困難な部品の共同購入など、新しい調達の形の提供にも取り組んでいます。

日本企業の課題を全力で解決し、当社もまた成長していきたいと思います。創業50周年を迎える2020年には、売り上げ100億円を目指しています。

三雅産業株式会社
三雅産業株式会社
大阪府高槻市柳川町1丁目2番2号
https://www.mimasa.co.jp/